









## NR SnapIns for WinSpec32

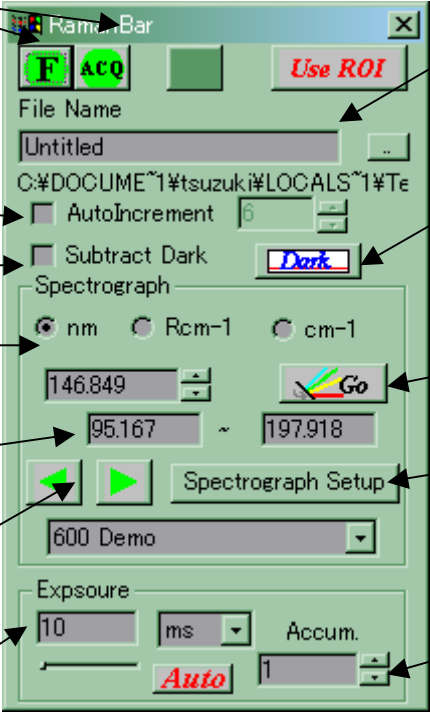
*Copyright Nippon Roper, K.K.*

	RamanBar.....	2
	Compare View .....	2
	AddFrame SnapIn.....	3
	YT-Graph SnapIn.....	3
	ReadCSV SnapIn .....	4
	Launcher SnapIn .....	4
	Send to Sma4Win.....	5
	Make Blemish.....	5

## RamanBar

**Tools** メニューの **RamanBar**(もしくは  ボタン)を走らせてください。

すると、下のようなダイアログが出現します。使用法は、下図をご覧ください。



Focus(連続的にデータを取  
得)と  
Acquire(指定フレーム数だ  
けデータを取得)

連番の設定

ダークを引くかどうか

表示単位の切替

分光器の中心波長と、  
左右端波長の設定

中心波長のStep駆動

露光時間の設定

ファイル名の設定

ダークの取得

分光器の駆動

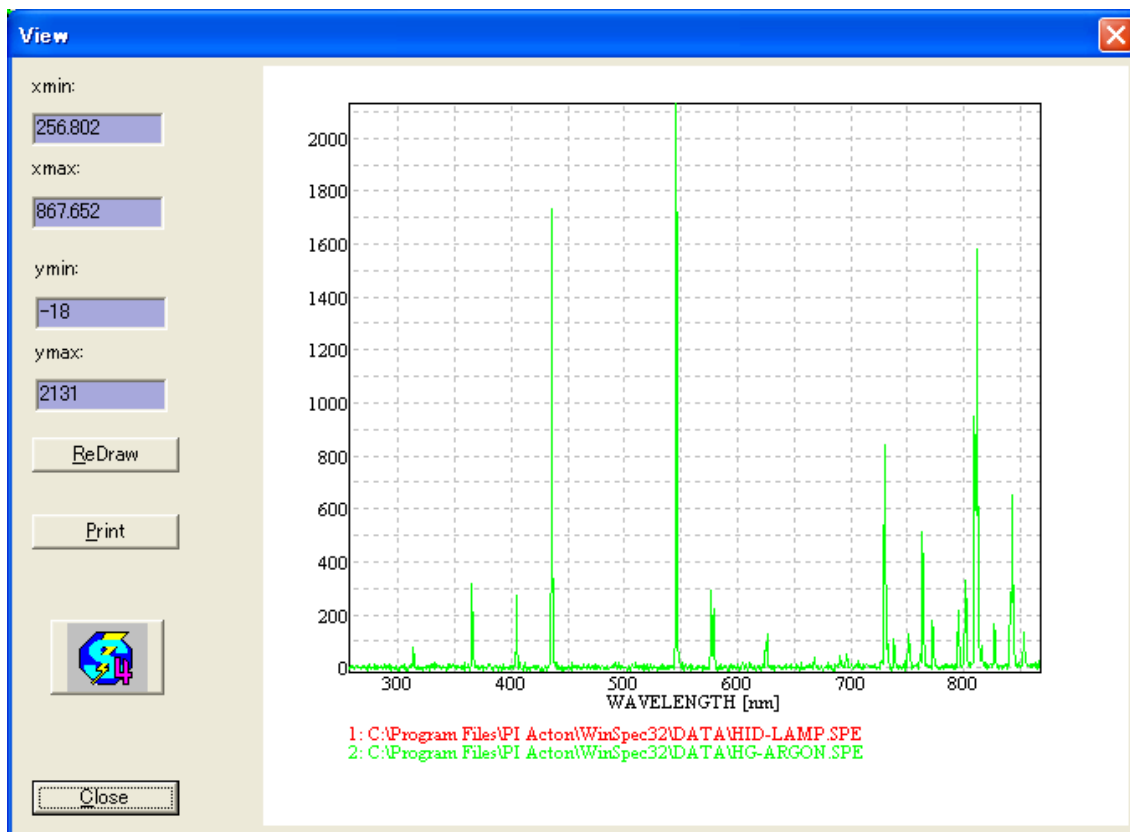
Step駆動や、ラマ  
ン測定時のレー  
ザー波長設定

積算回数の設定

## Compare View

WinSpec/32 上で開いている複数のスペクトルデータ (最大 10 本) を 1 つの Window に表示をする SnapIn です。データを複数開いた上で、**Tools** メニューの CompareView(もし


くは  ボタン)を走らせてください。

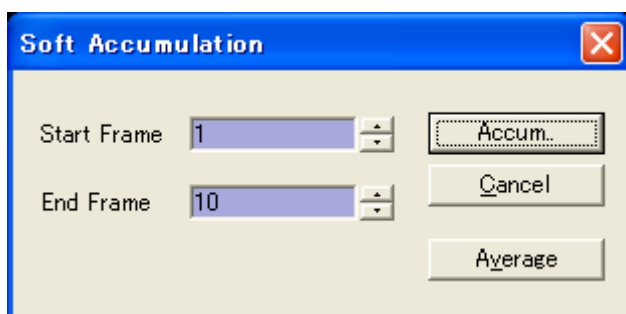


### AddFrame SnapIn

複数フレームを持つデータのフレーム間の積算を行う SnapIn です。

複数フレームを持つデータをアクティブにした上で、Tools メニューの AddFrame を選ぶ

か、 ボタンを押すと、次のようなダイアログが出ます。何フレーム目から何フレーム目を積算するかを設定して、Accum ボタンを押すと積算したデータを表示します。

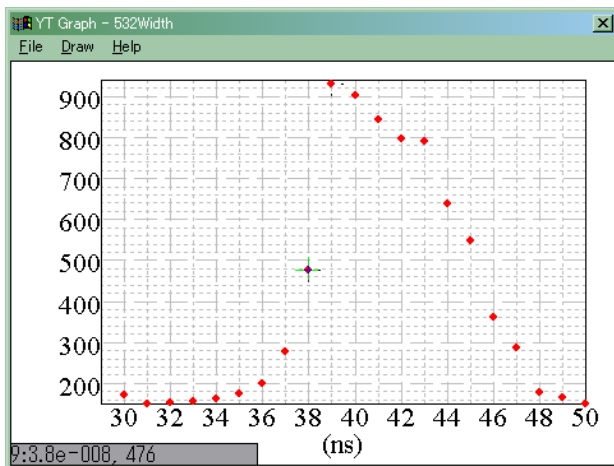


Average ボタンの場合、平均値データを表示します。

### YT-Graph SnapIn

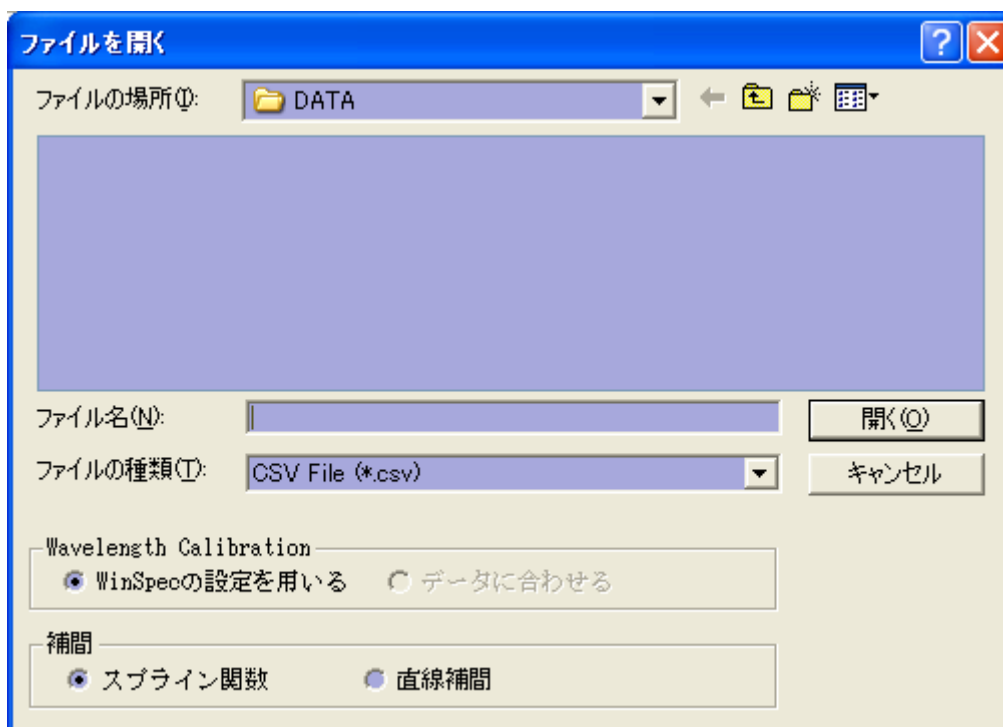
PI-MAX (ICCD-MAX) などで Pulser を Sequential モードにして測定した時間分解スペク

トルの、この波長(範囲)の時間変化を見るための **SnapIn** です。時間変化を見たい波長のピクセルにカーソルを移動させて(または、波長範囲をドラッグして囲んで)、Tools-YT-Graph を選択します。



### **ReadCSV SnapIn**

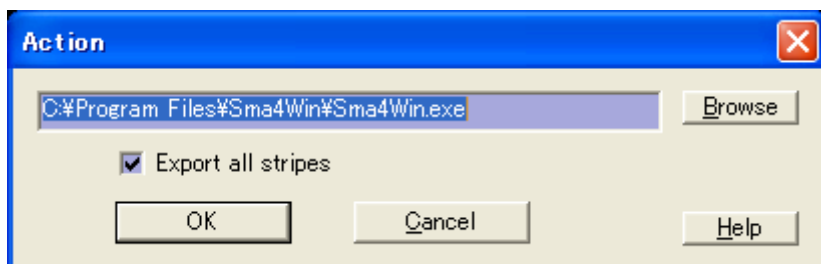
自記分光高度計などで得られた ASCII 形式のデータ(波長、強度の並びの CSV 形式)を WinSpec/32 にインポートする SnapIn です。Tools-ReadCSV を実行します。



### **Launcher SnapIn**

WinSpec で表示しているデータ (スペクトル) をアスキー変換して外部プログラムを起動

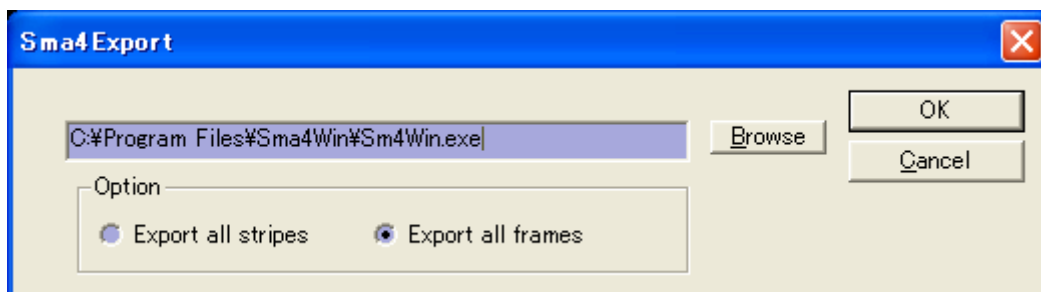
する **SnapIn** です。画像であれば、外部プログラムに渡したいストライプ (複数フレームであればフレームも) の位置へカーソルを移動させます。次に **Tools** メニューの **Send to Graph tool** を選択して下さい。現在表示している画像の現在のフレームの (2次元画像のとき) カーソルのある位置のストライプをアスキーファイルとしてデータファイルのあるフォルダにセーブ (上書きはしないようにファイル名を作成します) した後、下図のようなダイアログが出現します。



エディットボックスには起動したいプログラムを入力して下さい。そのプログラムに、先にセーブしたアスキーファイル名を起動オプションに付けて起動します。

### **Send to Sma4Win**

Launcher **SnapIn** と同等の機能を持つ **SnapIn** です。2次元グラフ作成ソフト **Sma4Win** との連携を考慮して作られています。複数フレームまたは、複数ストライプのデータも 1つのテキストファイルにエクスポートして **Sma4Win** に渡す事が出来ます。



### **Make Blemish**

**Blemish** とは CCD 欠陥アクトンピクセルをソフトウェア的に補正する機能です。**WinSpec** では、**Blemish** 機能を標準でサポートしていますが、**Blemish** ファイル(拡張子 **ble**)を GUI 的に作成するツールが付いていません。これを補う **SnapIn** です。

**WinSpec/32** でスペクトルや、イメージを測定し、欠陥ピクセルにカーソルを合わせて、本 **SnapIn** (**Tools-MakeBlemish**) で登録します。